

泉州 岸和田の宗教文化

— 高僧伝と寺社縁起 —

「だんじりの街」として知られる岸和田は、豊かな宗教文化が花開いた場でもありました。熊野参詣道・西国順礼道が南北を貫き、また山手には葛城修験の行場が連なる「葛城二十八宿」がひろがっています。

本企画展では、泉州・岸和田にゆかり深い高僧たち——行基菩薩・役行者・燈誉上人・徳本上人に着目し、彼らを生涯を物語る貴重な地域の文化財を読み解きます。くわえて、岸和田城下のシンボルとも言うべき『蛸地蔵縁起絵巻』、世界的に注目を集める『神於寺縁起絵巻』という二つの縁起絵巻を特に詳しくご紹介します。あわせて、『岸和田市史』編纂に尽力された玉谷哲氏による和泉国・岸和田藩史研究資料や、紀州経済史文化史研究所保管 一ノ橋文庫所蔵の関連古典籍についても展示いたします。



徳本 南無阿弥陀仏名号
(絹本着色 正覚寺蔵 [岸和田市宮本町])



徳本行者御絵伝 第一幅 (明治43年 [1910]
紙本着色 四幅 光攝寺蔵 [岸和田市宮本町])



神於寺縁起絵巻 模本 ((明治時代) 原本:南北朝時代 紙本着色 二軸 布引山 神於寺蔵 [岸和田市神於町])



燈誉上人行状絵伝 (享保18年 [1733] 紙本着色 一軸 極楽寺蔵 [岸和田市極楽寺町])

勝福寺
本尊者 大日如來
阿彌陀佛
在和泉國泉郡大澤上村内
四至 限東春木地 限南露谷
限西大道 限北名園
右當寺者葛木峯第一之松所役行者草創
聖跡也凡臨滌湯葉叶天時也春開秋落
青龍白虎得地勢也无怖石平也而間八大
龍神卜隣在南步遠待龍華々曉七寶
龍水流谷溢巽步遠朝早宿々暮滅之矣

勝福寺縁起 ((江戸初期) 写一幀 (卷子改装) 個人蔵)